

上流の日本語



[上流の日本語_下载链接1](#)

著者:本郷陽二

出版者:朝日新聞出版

出版时间:2015-9-18

装帧:平装

isbn:9784022513038

同じ内容を伝える場合でも、どんな言葉を選び、どんな語調で話すかによって、他人からの印象は大きく違ってきます。乱れた言葉づかいによって、ときには損をすることも……。他人に評価され、人間関係を良好にするための、美しい日本語の使い方集。ビジネスでもプライベートでも役立つ一冊です。

作者紹介:

本郷/陽二

東京都生まれ。早稲田大学文学部卒業。光文社カップブックス編集部でベストセラーとなった『冠婚葬祭入門』(塩月弥栄子著)のシリーズなどを担当。その後、話し方や歴史関係の著作やプロデュースで活躍。幸運社代表(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

目録:【目次】

第1章 相手へのねぎらいに満ちた「挨拶とおもてなし」

- 相手の心をなごませる「ねぎらい言葉」
 - ・「ようこそお運びくださいました」には「ねぎらい」の効果/ほか
- 「感謝の気持ち」をきちんと表現できていますか?
 - ・「十分、頂戴いたしました」で、満足感を上品に伝える/ほか
- 「謙虚な物言い」が問題解決を円滑にする
 - ・「お言葉を返すようですが」は反感を買いやすい</ほか

第2章 角が立たない「頼み方」と「お断り」

- 相手に聞いてもらえる「依頼」の仕方
 - ・「おめもじいただく」って、どういう意味なの?/ほか
- 上流の人が使っている、うまい「断り方」
 - ・「ご放念ください」は、どんなときに使うのか/ほか
- 「お金」の貸し借りもスマートにこなす
 - ・貸したお金を催促するときの言葉は/ほか

第3章 目上の人にも使える「ほめ言葉」「別れ際の挨拶」

- 大人なら覚えておきたい「ほめ言葉」の使い方
 - ・「お噂はかねがね……」はよい噂のときに使う/ほか
- 「別れ際」も優雅な印象を残す
 - ・別れ際に「お名残惜しい」をプラスすると、上質な挨拶に/ほか

第4章 ひと言で場を和らげる「クッション言葉」

- 品のある人が必ず使っている「前置き言葉」
 - ・上流の日本語に欠かせないのがクッション言葉/ほか
- さらに相手に好印象を残す「決まり言葉」
 - ・「お相伴にあずかる」は自分が主ではない席に誘われたときに使う/ほか

第5章 これだけは覚えておきたい「電話とメール」の素敵な表現

- 相手を不快にさせない「電話での言葉づかい」
 - ・電話かメール。どちらがより好印象でしょうか?/ほか
- 仕事を120%スムーズにする「メールの書き方」
 - ・王道のコミュニケーションツールとなったメールを使いこなすには/ほか

第6章 ワンランク上の日本語表現とスマートに会話を広げるコツ

- 頭のいい人は使っている「日本語表現」
 - ・「ひと雨きそうですね」「よいお湿りで」で情緒を伝える/ほか
- 「会話を広げる」きっかけに使える、とっておきの言葉
 - ・「キドニタテカケシ衣食住」の引き出しを作っておく/ほか
 - ・ (收起)

[上流の日本語 下载链接1](#)

标签

☆外文原版

-日语

*专著

评论

[上流の日本語 下载链接1](#)

书评

[上流の日本語 下载链接1](#)